



栃木県生協連

2011年度3月定例報告

2012年3月19日

栃木県連 専務 鎌柄

(1) 2月活動日誌

日付	曜日	日誌
2月1日	水	中央地連MCA無線訓練
2月2日	木	国際協同組合年ワーキングチーム会
2月6日	月	県食の安全安心推進会議、いわき仮設ボラ事前打ち合わせ
2月7日	火	県連くらし部会、小山市生物多様性会議、県足利工大生協検査
2月8日	水	労福協幹事会
2月14日	火	県議会自民党との会派懇談会、栃木労生協経営検討委員会
2月15日	水	県食育推進連絡会
2月16日	木	県とちぎコープ生協検査、県食肉公正協総会
2月17日	金	県とちぎコープ生協検査、県連理事会
2月18日	土	職域団体合同住宅相談会、宇大食の安全シンポジウム
2月20日	月	国際協同組合年第2回栃木県実行委員会
2月21日	火	消費者ネット・幹事会
2月22日	水	宇都宮市食品安全推進懇話会
2月23日	木	中央地連責任者会議
2月24日	金	くらし部会拡大学習会
2月27日	月	J A・TPPを考えるシンポジウム、地方消費者フォーラム実行委員会
2月28日	火	日生協震災対策検討会
2月29日	水	栃木労生協理事会、福祉ネットワーク世話人会

※東日本大震災を受けて、まとめは概況とします。

(2) 2月活動の概況

(宇都宮市内と福島県で避難されている方々のふれあいお茶会)

2月21日ふれあいコープの特養みどりで、福島県から宇都宮市内に避難されている方々に対する第6回目の「ふれあいお茶会」が開催された。今回は大人26名の方、お子さん2名（内浪江町の方12名、大熊町の方5名、双葉町の方2名、南相馬市の方3名、福島市の方2名、郡山市の方2名、須賀川市の方1名、石巻市の方1名、福島県庁の方2名、主催者スタッフは12名（とちぎコープ、よつ葉生協、NPOウィズ、ふれあいコープ、県連）の参加があった。避難されている方の中から世話人の方が出て、今後につながる場になってきている。

(福島県いわき市の仮設に入居されている方々へのつながりづくり支援)

6日いわきNPOセンターと宇都宮まちづくり市民工房との関係で、福島県いわき市内でも何か生協連で協力できないかとの思いから、市民工房の2名と会員含めた3名、計5名で、現地を訪問しいわきNPOセンターの方々と打合せを行った。いわき市四倉中核工業団地内の仮設で、できれば早い時期から横のつながりづくりの支援が必要とされているとの要請があり、3月から対応を検討することとした。

(EAST LOOPへのご協力をお願い)

被災された方々が製作されているハートブローチを、竹内会長を中心に230ヶの普及が進められた。会員でも普及の準備が進められている。

(県議会自民党会派との懇談会)

2月14日県議会自民党の三森政調会長、政調会役員の県議の皆さん7名と生協連常務理事会と女性理事のメンバー9名で、6年ぶりの会派懇談会を開催した。食の安全、消費者被害、当面の課題である放射性物質による農産物の影響等について、県議会としての取り組み報告をいただき、生協側の取り組み報告を含めて意見交換が行われた。

(理事会、部会)

17日県連理事会が開催され、2012年度の計画骨子、2012年度の損益ガイドライン、役員枠検討委員、役員選考委員、財政検討委員の互選、総代定数、総会に向けてのスケジュール等が確認された。理事会後に財政検討委員会が開催され、2012年度の会費案について理事会への答申として確認され、役員枠検討委員会では、これまでの役員枠を基本に富士重工生協の解散を加味した定数を答申することで確認された。

くらし部会拡大学習会として、海洋汚染問題の学習会を検討していた。講師の推薦をいただき急遽、2月24日に開催することとなった。福島県水産試験場の五十嵐敏場長に宇都宮までおいでいただき、水産資源への放射性物質の測定の地道な取り組みを、詳しくお話いただいた。海老、蟹、イカ、タコ、貝類などの種では数値が比較的低く、魚種によっては高い傾向のものがあるとのこと、放射性物質の海での拡散、潮流による影響などデーターを基にお話をいただき、福島県が漁業の安全宣言をされる段階では、データーに基づいた検証がされていることが参加された方々に理解された。



(2月24日くらし部会
拡大学習会)

(食の安全課題の関連)

2月6日県とちぎ食の安全・安心推進会議、2日宇都宮市食品安全推進懇話会が開催された。平成23年度事業報告と平成24年度の取り組みや監視指導計画案について審議された。県の平成24年度食品衛生監視指導計画について、食の安全ネットワークとしてパブコメを提出した。

(消費者課題の関連)

2月21日消費者ネットワークの幹事会が開催され、1月27日のシンポジウムの振り返りと2012年度計画づくりに向けて、意見交換がされた。2年間取り組んできた

自治体訪問について、どのように継続して行くのか、シンポジウムの持ち方等についても意見交換を行った。その前提として、次回から（仮称）消費生活条例についての学習を継続して行くこととした。

（国際協同組合年・協同組合まつり）

1. 国際協同組合年第2回栃木県実行委員会

2月20日国際協同組合年第2回栃木県実行委員会が開催された。6月23日（土）「協同組合まつりの実施要領、費用と分担の仕方、実行委員会の今後のスケジュール等の提案、全国実行委員会の報告などを行い、それぞれ確認された。

2. 国際協同組合年ワーキングチーム会

2日第6回目が開催された。参加会員報告では、ふれあいコープ・コープ福祉とちぎの設立の経過や理念、現在の取り組みなど澤田さんから報告された。「協同組合の役割と未来」第2章 大学生協連、医療福祉生協連のレポートは、よつ葉生協中田秀治組合員組織部長から報告された。宇都宮大学の神代先生から助言をいただき、大学生協や医療生協での組合員参加の問題、ライフスタイルの変化と提案力の問題など意見交換がされた。

（3）3～5月の課題

1. 3～5月部会・委員会活動の推進
2. 3～5月ネットワーク活動（食の安全ネット全体会、消費者ネット全体会）推進
3. 2012年国際協同組合年栃木県実行委員会「協同組合まつり」の準備と推進
4. 県連総会に向けた諸準備と次年度計画の策定
5. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣

（4）2012年度4～7月関連の県連及び県の行事日程（予定）

4月10日（県連）「くらし部会拡大学習会」、とちぎ福祉プラザ
別紙

5月30日（栃木県）「消費者のつどい」、県総合文化センター
基調講演・全国消団連 阿南事務局長予定

6月20日（栃木県）県北・「とちぎ食品安全フォーラム」、那須塩原市三島ホール
テーマ案・放射性物質と食品の安全性について
（食品における放射性物質の新規格基準について）

6月23日（国際協同組合年栃木県実行委員会）「協同組合まつり」、マロニエプラザ予定
スローガン「みんなでつなごう、協同組合の輪！」
（IYCスローガン：「協同組合が、よりよい社会を築きます」）

6月29日（県連）第43回通常総会、とちぎ福祉プラザ予定

7月4日（栃木県）県央・「とちぎ食品安全フォーラム」、県総合文化センター
テーマ案・放射性物質と食品の安全性について
（食品における放射性物質の新規格基準について）

2012年3月15日

各 位

栃木県生活協同組合連合会
会長理事 竹内 明子
(公 印 省 略)

第4回くらし部会拡大学習会のご案内

早春の候、2011年度4回目のくらし部会拡大学習会のご案内をさせていただきます。お声掛けの上ご参加よろしくお願ひ致します。

福島県生協連熊谷純一会長においでいただき、チェルノブイリ視察を含めたお話をいただく機会を得ることができました。

今回、拡大学習会と致しますので、役職員・関係者含めてお声掛けをいただければ幸いです。

1. 開催日時 2012年4月10日(火) 11:00~12:30 予定
(開始時間にご注意ください。)

2. 開催場所 とちぎ福祉プラザ・2階第1研修室
(〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940)

3. 参加の呼びかけをいただきたい方々
とちぎコープ生協、よつ葉生協、生活クラブ生協の理事の皆さん
各生協の組合員組織の運営関係役員及び担当職員の皆さん
会員で参加を希望される皆さん、その他参加を希望される皆さん

4. 内 容

(拡大学習会)

テーマ 「福島原発事故から見えるもの」

講 師 福島県生協連 会長理事 熊谷 純一 氏

5. 参加連絡のお願い

別紙にて、4月2日(月)迄にご連絡の程お願ひ致します。